

洛窓会 東京支部活動状況

2018年10月13日
H30年度 東京支部代表幹事
三菱ケミカル株式会社 清川 敦郎 (45回卒)

平成30年度 東京支部総会報告

1. 開催状況

日時： 2018年7月10日(火)

第一部 総会・講演会 16:00～17:50

第二部 懇親会 18:00～20:00

場所： 三菱ケミカル(株) 本社17階(東京都千代田区丸の内1-1-1パレスビル)

出席者数： 総会 79名、懇親会 82名、延べ 85名

京都からご出席いただいた以下の先生方を含む。

三浦 孝一 京都大学名誉教授・洛窓会会長

長谷部伸治 京都大学教授

前 一廣 京都大学教授

松坂 修二 京都大学教授

2. 第一部 総会

1) 洛窓会東京支部長挨拶

サントリーホールディングス(株)専務取締役(36回卒) 小嶋 幸次 様

冒頭で前週に起きた西日本豪雨被害へのお見舞いの言葉の後、開会挨拶及び総会参加者への謝意を述べられた。

世界経済にトランプ嵐が吹き、グローバル化の時代に関税をかける政治姿勢の背景にはマネーゲームがあること、そしてこんな時代だからこそ、ものづくりにおいて化学工学者の持つバランス感覚と広い視野が必要とされることに言及された。最後に、5年前に引き継いだ支部長の職を住友化学 上田様に引き継ぎたい旨提案され、満場一致の拍手で承認された。この後、新支部長となられる住友化学 上田 博様より引継ぎのご挨拶を頂いた。



2) 講演会

講演1 「デジタル・トランスフォーメーションへの当社の取り組み」

(株)三菱ケミカルホールディングス(MCHC) 代表取締役社長 越智 仁



”デジタル”の活用の可能性・インパクトを MCHC での取り組みを例に挙げながら説明頂いた。2018年の新聞広告「化学+デジタル→KAITEKI」では、デジタルが新しい世界をもたらし、持続可能な世界を作ることアピールした。Google, Amazonに代表されるような企業が、ものづくりとバーチャルを融合させ、インテグレーションによってシステムの価値を向上させ、囲い込みが進行している。情報科学は 1) 90年代までは制御、最適化 2) 90-2010年はインターネットの時代 3) それ以降はデジタル・トランスフォーメーションの時代であり、AIがビジネスをドラスティックに変えてしまう。クラウド・シュワブはこれを「第四次産業革命」と呼んだ。AIをうまく使えないと顧客を取られてしまうリスクが増加する。しかしこれに対処するために自前の研究開発だけでは足りない。自分でやる所と協力してやる所を分ける必要があると

いう。我々のいま生きている時代の位置づけを考えさせられる講演であった。

講演2「化学工学者はもっと活躍できる（はずだ）」

京都大学大学院 工学研究科 化学工学専攻

長谷部 伸治 教授

今の時代こそマスバランス・ヒートバランスを考えるような、全体を俯瞰する化学工学的な見地が益々必要とされる。そこに化学工学出身者の活躍の場があることを、ユニークな語り口でお話頂いた。1)データ解析の話題は「七面鳥」の話から始まった。感謝祭までは、時間と七面鳥の体重は良い相関をみせるが、感謝祭で突然…。外挿の危険性を示す例であった。2)失敗データの重要性では、「東ロボくん」が東大入試突破を諦めた話が出た。知識の源泉である論文だが、「失敗」は掲載されない。意味のある「できませんでした」が重要でその名言を述べられた。これから更に創造的な仕事をしていく為には、連続データだけではなく、離散的なデータの扱いも重要となる。化学工学教育も石油化学の呪縛に囚われず、カリキュラムを見直しそれに答えていく。次の近況にもあるが、国際ランキングで京大・化工が第5位となり、化学工学者への期待が高まっていることで締め括られた。



3) 京都大学と化学工学教室の近況

京都大学大学院 工学研究科 化学工学専攻

松坂 修二 教授



京都大学の近況としてドローン動画による京大時計台周辺の茶色に統一された様子から始まり、最近の大学と教室のトピックを紹介された。昨年6月には、京都大学が東北大、東大と共に、世界最高水準の教育研究活動を行う「指定国立大学法人」に指定された。(東工大、名古屋大は本年3月に追加指定) この指定国立大学法人のみが出資可能な子会社として、京大は「京大オリジナル株式会社」を設立し、「知」の研究成果を産業界/社会に発信していることを述べられた。

また国際ランキングでは京大35位、専攻分野ー化学では京大16位、化学工学では5位となっている。特に化学工学ランキングは、9位→6位→5位と躍進を示している。京都大学では2010年以降、化学工学の希望者数が上昇しており、配属人数は40人を保っている。学年トップの30%が化学工学を希望しているという嬉しいデータを紹介された。

を保っている。学年トップの30%が化学工学を希望しているという嬉しいデータを紹介された。



総会の様子

3. 第二部 懇親会

1) 会長挨拶および乾杯

京都大学名誉教授・洛窓会会長 三浦孝一 先生

2) 各人の自己紹介

3) 代表幹事会社挨拶 越智 仁

4) 次年度代表幹事会社挨拶 内藤 清嗣様

洛窓会会長の三浦先生のご挨拶と乾杯のご発声で開会した。懇親会の最初の 20 分間を自己紹介タイムとし、テーブル単位で自己紹介をして頂いた。しばらく歓談の後、幹事会社代表として、(株)三菱ケミカルホールディングスの越智の挨拶の後、次年度の代表幹事の三井化学(株)の内藤様よりご挨拶を頂いた。最後は、恒例の琵琶湖周航の歌を合唱し、お開きとした。



洛窓会会長 三浦先生



各テーブルでの自己紹介



三井化学 内藤氏

4. 総評

総会、懇親会で延べ 85 名の方にご参加頂き盛会の内に終わることができた。

幅広い年代の参加者の中で2010年度以降の卒業生も約 10 名ご参加頂き、懇親会費を低めに設定するといった若手参加率向上の施策の効果が有ったと思われる。

総会、懇親会いずれもオフィス内の施設を使用し、事前準備を重ねた結果、大きな問題無く開催することができた。運営面では、代表幹事会社内の若手会員が主に準備・進行にあたったが、受付・案内業務については社内から応援を仰いだ。幹事会社の若手にも総会・懇親会を楽しんでもらえるよう、内外への業務委託の活用が有効と思われる。

5. 会計報告

懇親会費を前年より若干低く設定する一方で、総会及び懇親会の会場に三菱ケミカルオフィス内の施設を活用し出費を抑え、収支はほぼバランスすることができた。今後も支部総会が盛会となるよう、工夫しながら運営していきたい。

6. 最後に

支部総会開催にあたり、遠路ご参加を賜りました三浦先生、前先生、長谷部先生、松坂先生に心よりお礼を申し上げます。また、支部総会開催には前幹事長ならびに本部庶務・会計・名簿幹事の蘆田先生・田辺先生・引間先生、支部幹事会社代表の方々には多大なご助力・アドバイスを頂戴しました。感謝いたします。

以上



懇親会



懇親会



琵琶湖周航の歌を合唱